

4) 摘出てんかん焦点部の血管構築異常

程塚 明・橋詰 清隆(旭川医科大学)
中井 啓文・田中 達也(脳神経外科)

てんかん焦点部では神経細胞やグリアの異常を認めるが、近年、血管構築の異常についても注目されている。我々は、自験例で検討し、興味ある結果が得られたので報告する。皮質形成異常や DNT などを伴うてんかん焦点切除術症例は21例で、この摘出標本において血管増生の有無や血管走行の異常、更に免疫染色による血管新生の有無を検討した。21症例の内訳は、皮質形成異常5例、DNT 3例、血管奇形3例、Ganglioglioma 3例、結節硬化症2例、良性グリオーマ2例、その他3例であった。しかし、この内13例で、皮質形成異常の一部で DNT 様の所見を合併するなど、複数の病理組織像を呈していた。この13例中11例とその他の8例中5例の計16例で、組織標本の一部に血管増生や血管分岐の異常を認めた。しかし、免疫染色では血管新生は認めなかった。この血管増生の病因としては、神経細胞やグリアの異常と同様、多彩な奇形性病変の一つと思われた。

5) 一側後腹側淡蒼球凝固術後における対側淡蒼球刺激術の有用性

安藤 肇史・仁村 太郎(国立療養所宮城病院)
脳神経外科
吉本 高志(東北大学)
脳神経外科

【目的】両側手術が必要となることが多い淡蒼球手術において、一側凝固術後の対側手術における刺激術の有用性につき、凝固術との比較を通して検討した。

【方法】対象は一側後腹側淡蒼球凝固術後に対側手術を行った11例で、内訳は淡蒼球凝固術3例、刺激術8例。評価方法は3点。(1) UPDRS の変化。(2) WAIS-R, WMS-R の変化。(3) Acoustic Core を用いた音響分析の変化。

【結果】(1) 凝固術3例の UPDRS の平均は術前が61.0, 術後42.3。刺激術8例では術前64.8, 術後47.1。両手術全例で改善が得られていた。(2) 凝固術の2例で WMS-R の約20%の低下を認めた。(3) 凝固術の1例で音響分析上、声門閉鎖の不良、声量低下を認めた。

【結論】1. 一側淡蒼球凝固術後の対側の刺激術と凝固術は同様の効果が得られた。2. 刺激術は合併症が少なく、一側淡蒼球凝固術の対側手術は刺激術を行うべきである。

6) 頸動脈閉塞性疾患における acetazolamide 反応性と OEF の関連について

黒田 敏・宝金 清博(北海道大学)
岩崎 喜信・阿部 弘(脳神経外科)
志賀 哲・加藤千恵次(同)
玉木 長良(核医学科)

【目的】今回、われわれは SPECT にて rCBF, ACZ 反応性が低下した症例における PET パラメータを測定したので報告する。

【対象, 方法】SPECT により rCBF, ACZ 反応性の両者が低下していた16例21大脳半球を対象とした。脳血管撮影上の内訳は、内頸動脈閉塞5例、内頸動脈高度狭窄2例、大動脈炎症候群1例、もやもや病5例、中大脳動脈閉塞2例、高度狭窄1例であった。PET により脳血流量 (rCBF), 脳血液量 (rCBV), 脳酸素代謝量 (rCMRO₂), 脳酸素摂取率 (rOEF) を測定した。

【結果】PET では OEF の上昇が認められたのは21例中12例 (57.1%) であった。このうち、rCMRO₂ が正常に保持されているのは12例中9例であった。ほかの3例では OEF の上昇はあるものの rCMRO₂ は低下傾向にあった。これに対して、21例中9例 (42.9%) では OEF の上昇が認められず、rCBF の低下に応じた rCMRO₂ の低下が認められた。

【結論】SPECT にて Type 3 (rCBF, ACZ 反応性低下) と診断される症例のうち、PET 上、misery perfusion を示す例は約6割程度であった。これに対して、ほかの例では matched perfusion の状態であると考えられた。SPECT から両者を鑑別するのは困難で、今後の対策が必要である。

7) 慢性期血行再建術 (STA-MCA bypass) の術前、および術後評価に対する MRI 灌流画像 (PI) の有用性

古明地孝宏・鈴木 進(星が浦病院)
対馬 州一(釧路脳神経外科病院)
齋藤 孝次

目的: 慢性期 STA-MCA bypass (SMB) の術前、術後の評価に対する PI 画像の有用性について検討した。対象: 慢性期 SMB が施行され、術前後に rest & diamox 負荷 PI, および IMP-SPECT の両者が施行された17例。方法: PI は Gd-DTPA-BMA を用いた dynamic MRI で安静時撮像後15分後に diamox 負荷 PI を行った。rCBV, rCBF, rMTT 画像を作成